

10 / 07 - 10 / 13

大阪ヘルスケアパビリオン
「リボンチャレンジ」



未利用魚の活用に向け
選別機の部品づくりに
強みの熱処理技術で貢献

高品質なものづくりに欠かせない熱処理加工に強み

八田工業株式会社は、さまざまな業界の金属製品を作る上で不可欠な真空熱処理をはじめとする加工を担当しています。なかでも同社の高い技術力を示す強みとしているのは、低温域の窒素イオンによって金属の表面を硬化する「イオン窒化処理」です。

また、熱処理依頼に24時間365日対応できる仕組みを確立。顧客の高い信頼感を獲得しています。最近では、医療業界や食品業界でニーズの高いステンレスやチタンの熱処理加工も手がけています。



八田工業の強みの一つ「イオン窒化処理」



製品の仕上がりを検査室で厳しくチェック



営業部の仕事風景

高品質と安全性が求められる未利用魚の選別機の部品で貢献

大阪・関西万博へは、「未利用魚の活用に大阪の町工場が挑戦」というテーマのもと、東洋水産機械株式会社を中心とする大阪の中小企業6社で共同出展します。同社は選別機の部品づくりにおいて、得意の熱処理加工で貢献することになります。

将来的には選別しただけでなく、未利用魚を活用するための加工機が必要であり、ステンレスやチタンなど衛生面で安全性の高い材質を使った医療や食品関連の機械部品の熱処理加工に実績のある同社の技術に期待が寄せられます。

大きな可能性がある深海魚が活用に適するかの判断もAIなら

四方が海に囲まれ、古くから水産業が盛だった日本で、これまで活用されていなかった未利用魚という水産資源を無駄なく活かす技術を世界に発信できることはすばらしいと考えています。特に将来的に大きな可能性を感じるのは深海魚です。人類をワクワクさせる未知の世界は宇宙と深海ですが、少なくとも深海には生物がいることは確実で、水産資源の確保という点では深海魚も将来的に活用したい未利用魚です。今回のAIを搭載した選別機が開発されれば、食用に適するかどうかをAIに学習させることもできると考えています。

企業概要

所在地 〒599-8265
堺市中区八田西町2-18-40
TEL 072-277-7227
設立年 1979年
資本金 1,000万円
従業員 26名

公式サイト

さかしる



代表取締役
隅谷 賢三 さん

「縁の下の力持ち」の貢献を、社員の家族たちにもアピール

大阪・関西万博のテーマが「いのち輝く未来社会のデザイン」ということで、海洋国家である日本に深い関わりのある未利用魚の未来の「食」について世界に発信できることは意義あることだと思いました。当社では医療機器や食品製造機械で多く使われるステンレスの熱処理も行っており、「身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！」のコンセプトにも共感しています。

基本的に当社の事業は「縁の下の力持ち」で、表から見えるものではありません。だからこそ、今回の出展には、社員の皆さんにも胸を張って家族を案内してもらいたいと思っています。

事業内容

金属熱処理加工、金属加工
金属材料販売・管理

主な取引先（納入先）

半導体部品、国内軸受けメーカー
国内外空調機メーカー

主な製品・サービス等

真空熱処理、イオン窒化処理
ガス浸炭処理、サブゼロ処理